

春日山原始林授業づくりセミナー 第2回 フィールドワーク 概要報告

奈良教育大学研究員 杉山 拓次

実施日：2020年8月30日（日）17:00~20:30

参加者：現職教員等：渡邊、中澤、大田原

学生：柚木、長尾、南本、江口、長滝谷、西田、藤本、古橋

教育大：杉山、中澤

■実施場所：春日山遊歩道（南部）

■実施概要：実施行程は以下の通り。

16:30 近鉄奈良駅行基像前集合（一部は、春日大社表参道集合）バス移動

17:00 春日大社表参道飛火野にて全員集合

17:10 春日山遊歩道（南部）に向け移動

18:30 遊歩道内にて解説（ムササビについて）軽食・休憩

19:00~20:00 原始林内にて森の音などに耳を傾けて過ごす

20:30 春日山遊歩道南部出口にて解散

※破石バス停までは全員で移動した。

■概要報告

夕方前の春日大社境内地の飛火野に集合し、日が落ちる時間の春日大社境内地を抜けて高畑から春日山遊歩道へ移動。日没時間まで遊歩道を歩き、夜の気配に変わっていく時間を過ごす。軽食をとったのち、遊歩道をくだり、大きなギャップのある場所でシートを敷いて各自で寝転んだりするなどして時間を過ごし、ムササビの訪れを待つ。姿を見ることが叶わなかったが、ムササビの啼き声をきくことができた。

■解説ポイント

- ・飛火野からの御蓋山・春日山の景観
- ・ムササビによる松ぼっくりの食痕の確認。
- ・サカキの植樹エリア周囲の柵内、柵外の植生の違いについて
- ・奈良のシカ愛護会「鹿苑」について
- ・イチイガシについて
- ・ナギについて（春日大社との関係、葉脈・樹皮の感覚の違い等）
- ・春日山遊歩道のイチイガシ巨樹
- ・ムササビについて（葉の食痕、妖怪のたとえ）
- ・虫の音、アオバズク、シカなどの鳴き声を聞く
- ・ケヤキのシルエット
- ・ムササビの鳴き声など

■実施風景（写真）



■感想

- ・夜になるにつれて、視覚から聴覚へと感覚が変わっていくのが面白かった。
- ・夜の森に入ることはなかったので良い経験となった。

■ポートフォリオから

- ・夜の道に寝転がると森に1人であるような感覚になって怖いと感じるだろうと思っていました。しかし、実際にやってみると森と一体化したような落ち着いた気持ちになりました。
- ・春日山原始林は、歩くルートや時間帯を変えるだけでも新たな発見ができる場所だと今回改めて感じた。